

報道関係各位

東京建物株式会社  
株式会社伊予銀行  
ヒューリック株式会社  
日本橋 1 丁目開発特定目的会社

## 「(仮称)日本橋 1 丁目プロジェクト」着工

### 地下鉄日本橋駅直結の免震オフィスビルを開発

東京建物株式会社（共同事業者代表）、株式会社伊予銀行、ヒューリック株式会社、日本橋 1 丁目開発特定目的会社の 4 社は、東京都中央区日本橋 1 丁目 3 番地において事業を進めている「(仮称)日本橋 1 丁目プロジェクト」につきまして、今般その計画概要が決定し、本日新築工事に着手しましたのでお知らせいたします。

#### <計画の位置付け>

本プロジェクトは、JR東京駅から徒歩 7 分、東京メトロ東西線・銀座線及び都営浅草線「日本橋駅」直結という優れた交通利便性と、日本のビジネス・商業の中核である中央通りと永代通りに面した日本橋交差点の角地に位置する恵まれた立地特性を活かし、高い安全性とフレキシビリティを兼ね備えたオフィスにホール・店舗といった多様なサポート機能を有する複合ビルを整備することにより、日本橋エリアの更なる賑わいと新たなビジネス拠点を創出するものです。



<建物外観イメージ>

## <プロジェクトの特徴>

### 1. 多様なニーズに対応できるフレキシブルなオフィス空間及びその他機能の集積

- オフィス（4階～13階）は、ワンフロア約400坪でレイアウト効率に優れた整形無柱空間とし、企業の多様なニーズに応えるフレキシブルな計画としております。
- 低層部は、地下1階・地上1階に商業店舗、2階・3階に多目的ホールを整備し、オフィス利用者・一般利用者の両方に利便性の高い施設として、日本橋エリアの更なる賑わい創出に貢献する計画としております。

### 2. 防災意識の高まりに応える最高レベルの安全性

- 東日本大震災以降、企業の防災意識やBCP対策へのニーズが高まる中、本建物は免震構造（地下1階柱頭免震）を採用し、高い耐震性能を確保した構造計画としております。
- 72時間運転可能な非常用発電機を備え、停電時には防災・保安用だけでなくオフィス専有部に対しても15VA/㎡の電源供給を行い、入居テナントのBCP対策に貢献する計画としております。また、更なるバックアップ対策として、テナント用非常用発電機設置スペースを屋上に確保し、BCP対策をサポートする計画としております。
- ゲリラ豪雨や荒川決壊に対する浸水対策として、浸水想定深さ以上の防潮板を設置し、建物内への水の流入を防ぐ計画としております。さらに、ビルの中核機能である防災センターを地上2階に、受変電設備及び非常用発電機を屋上に設置し、万が一の浸水時においても本建物内の電源供給が途絶えず、継続的な運営が可能な計画としております。

### 3. 抜群の交通アクセス

- 東京メトロ東西線・銀座線及び都営地下鉄浅草線の3路線が乗り入れる利便性の高い「日本橋駅」と直結されることで高いアクセス性を確保するとともに、駅利用者のバリアフリー対策も行う等、本建物だけでなく日本橋駅全体の混雑緩和に貢献する計画としております。

## <計画概要>

計画地	東京都中央区日本橋一丁目3番2ほか
用途	B1階、1階 : 店舗 2階、3階 : 多目的ホール 4階～13階 : オフィス
敷地面積	約2,277㎡
計画容積率	約1,000%
延床面積	約23,000㎡
構造/規模	鉄骨造・鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造） 地上13階地下2階 塔屋2階
最高高さ	約56m
設計	大成建設株式会社一級建築士事務所
設計・監理	株式会社日本設計
施工	大成建設株式会社
着工	平成25年9月
竣工	平成27年2月（予定）

※ 計画概要は今後変更となる可能性があります。

以上

<計画地位置図>

